

※実務経験のある教員による授業科目

**授業概要**

子どもの歌と表現Ⅰを踏まえ、現場で必要とされる子どもの歌を課題曲とし、子どもの姿を具体的にイメージしたり、子どもが歌の楽しさを感じるような表現活動を含めて指導する。授業形態は、子どもの歌と表現Ⅰと同様、全体授業とグループ別個人レッスンを並行して行う。全体授業では、季節の歌、生活の歌、行事に関する歌等、主にハ長調以外の曲を課題として扱う。各教員の、演奏者、子どもへの音楽指導、保育現場での音楽遊び指導としての経験を生かし、授業内では、歌唱及び伴奏法に関わる事柄についても指導する。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス	(個人レッスン)
第 2 回	(全体授業) ヘ長調コード付けの理論と方法	(個人レッスン)
第 3 回	(全体授業) コード演習「ぞうさん」	(個人レッスン)
第 4 回	(全体授業) 「たなばたさま」	(個人レッスン)
第 5 回	(全体授業) 「山の音楽家」	(個人レッスン)
第 6 回	(全体授業) 「雪」	(個人レッスン)
第 7 回	中間筆記・実技試験	(個人レッスン)
第 8 回	(全体授業) ト長調コード付けの理論と方法	(個人レッスン)
第 9 回	(全体授業) 「幸せなら手をたたこう」	(個人レッスン)
第 10 回	(全体授業) 「うみ」	(個人レッスン)
第 11 回	(全体授業) 二長調コード付けの理論と方法	(個人レッスン)
第 12 回	(全体授業) 「おはようのうた」	(個人レッスン)
第 13 回	(全体授業) 「おつかいありさん」	(個人レッスン)
第 14 回	(全体授業) 「とけいのうた」	(個人レッスン)
第 15 回	(全体授業) コード付けのまとめ	(個人レッスン)
第 16 回	実技試験	

**到達目標**

- ・曲を理解し、子どもの姿をイメージして弾き歌いができる。
- ・ヘ長調、ト長調、二長調の課題曲について、コード付けの理論と実践方法とを結び付け、自身で伴奏をつけることができる。
- ・課題曲習得に向けて、自身の課題を明確にし、計画的に実践することができる。

**履修上の注意**

- ・演奏の妨げにならないよう、爪を短く切ること。
- ・毎回、到達度カードに記入し、課題状況を確認すること。

**予習・復習**

- ・必ず、自主練習を行い、授業に臨むこと。
- ・授業における学びを確実なものにするため、必ず復習をすること。

**評価方法**

- ・実技試験 50%、中間試験 20%、提出物及び課題の取り組み 30%を総合して評価する。

**テキスト**

- ・教科書名：『改定ポケットいっぱいのおうた』
- ・著者名：鈴木恵津子, 富田英也
- ・出版社名：教育芸術社
- ・ISBNコード：978-4-87788-485-7

※その他、個別に講師と相談の上、使用テキストを決定する。